



第七回 〔氏賞受賞作家展

TAKAMATSU ASUKA

高松明日香

原
彰
子

HARA SHOKO

ダイアローグ

dialogue

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



2017年11月10日|金|-12月10日|日|

〔会場〕 岡山県立美術館 2階展示室

〔開館時間〕 9時-17時 ただし11月24日(金)は19時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

〔休館日〕 11月27日(月)、12月4日(月)

〔観覧料〕 一般350円、大学生250円*、65歳以上170円*、高校生以下無料*

◎キャンパスメンバーズの学生は無料 20名以上の団体は2割引 *年齢を証明できるものをご提示下さい。

◎11月16日(木)-12月3日(日)の期間は「第64回日本伝統工芸展岡山展」のチケットでもご覧頂けます。



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

高松明日香



第七回 I氏賞受賞作家展

ダイアログ

TAKAMATSU ASUKA

HARA SHOKO

原彰子

第8回 I氏賞 大賞受賞



岡山県にゆかりのある新進作家を支援し、次代を担う美術家を育成することを目指して始まった「I氏賞」も、10周年を迎えました。これまでに、大賞10名、奨励賞20名の作家に賞を贈呈し、その後の活動を紹介する展覧会を、2010年から岡山県立美術館で開催しています。

このたびの「I氏賞」受賞作家展では、高松明日香(第7回大賞)と原彰子(第8回大賞)の作品をご紹介します。香川県高松市出身の高松明日香は、倉敷芸術科学大学での勤務を契機に岡山県にも活動の場を広げ、受賞後も県内各所で作品発表を行っています。日常生活の中でふと気になりつつも忘れてしまうような記憶の一場面を描き留めたような絵画には、主題や構成が変わっても彼女ならではの独特の世界観があります。玉野市出身の原彰子は、10歳で家族とともにドイツに移住、グラフィックや映像などメディアデザインの手法により、国際社会を舞台にメッセージ性の強い作品を発表しています。受賞時の絵画的な造形性を活かした作風から様々な映像表現を用いた作品まで多彩な展開をご覧ください。

鋭敏な感性でみるものの意識にはたつきかける二人の作品との対話を、心ゆくまでお楽しみください。

- 1.高松 明日香《生物都市》2017
 - 2.高松 明日香《鳥類の朝》2017
 - 3.原 彰子《Abica》2014
 - 4.原 彰子《What they believe》2016
- 表面
 (左上) 高松 明日香《山河月色》部分 2017
 (右上) 高松 明日香《わざとじゃない》部分 2017
 (左下、右下) 原 彰子《Amnion》2013

「関連イベント」

◎アーティストトーク

本展出品作家が自身の作品や制作についてお話しします。

日時:11月11日(土) 14時から

会場:2階展示室

※要観覧券

◎I氏賞 10周年記念行事

日時:11月17日(金) 14時から

会場:2階ホール(先着210名・無料)

○記念講演

高階秀爾氏(大原美術館館長、I氏賞選考委員長)

○記念座談会

「10年回顧～そして明日から」



【交通案内】

JR岡山駅後楽園口(東口から)

徒歩|約15分

路面電車|東山行「城下」下車 徒歩3分

宇野バス|四御神/瀬戸駅/片上方面行「表町入口」下車 徒歩3分

岡山後楽園行「岡山県立美術館」下車すぐ

岡電バス|藤原団地行「天神町」下車すぐ

循環バスめぐりん|「表町入口」下車 徒歩3分

 岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL 086-225-4800 FAX 086-224-0648
E-mail kenbi@pref.okayama.lg.jp
http://okayama-kenbi.info/